

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

一般事務

業務紹介

◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、
企画等の行政事務

◆ 勤務先

本庁各課

地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

自己紹介

- ◆ 出身：宮城県気仙沼市
- ◆ 入庁年：H25.4

入庁後の異動歴（現在入庁12年目）

- | | |
|--------|---|
| H25.4～ | 気仙沼地方振興事務所 水産漁港部 用地班
用地取得に関する事など |
| H28.4～ | 仙台中央県税事務所 課税第四班
自動車税賦課業務に関する事など |
| H31.4～ | 保健福祉部 長寿社会政策課
地域包括ケア推進班 → R3.4～ 介護人材確保推進班
介護予防事業、介護イメージアップ事業に関する事など |
| R5.4～ | 総務部 市町村課 財政調整班
市町村民税、普通交付税に関する事など |

志望動機

◆ なぜ公務員？

- 兄が公務員だったこともあり、住民の生活を支え、地域をより良くするために働いている姿に憧れたため

◆ なぜ宮城県庁？

- 故郷である宮城県で働きたいと思っていたこと、また、市町村よりもスケールの大きい仕事をしたいと思っていたため

これまでに担当した業務の紹介

◆ 気仙沼地方振興事務所 水産漁港部 用地班

〈東日本大震災後の防潮堤建設に向けて地域住民との折衝業務を経験〉

用地取得に関する業務

- 気仙沼市及び南三陸町の防潮堤建設に向けた土地の取得及び建物等に移転するための補償、登記手続き等の業務を担当
- 用地取得は土地等を所有する地域住民との合意形成が最重要であり、円滑に物事を進める対人能力（コミュニケーション能力）が求められる

これまでに担当した業務の紹介

◆ 仙台中央県税事務所 課税第四班

〈貴重な自主財源である県税を確保するための業務を経験〉

自動車税(環境性能割・種別割)の課税等に関する業務

- 自動車所有者等への課税業務のほか、車いす自動車所有者や身体障害者への課税免除等に関する業務を担当
- 課税する県民に対して、課税する根拠を示す説明力が求められる

軽油引取税、免税軽油に関する業務

- 申告書の確認や免税対象者からの申請書類の確認、証明書類の交付業務を担当
- 書類の誤りなどを確認する、事務処理の正確性が求められる

これまでに担当した業務の紹介

◆ 保健福祉部 長寿社会政策課

〈全市町村担当職員とやり取りを必要とする業務や企画業務を経験〉

介護予防事業、老人クラブ支援等に関する業務（地域包括ケア推進班）

- 市町村が介護予防事業等を実施するために必要な費用を交付する業務
- 老人クラブの活動に対して市町村が助成し、市町村に対して県が費用を補助する業務を担当
- 事務処理のスピードが求められるほか、提出期限などのスケジュール管理能力が求められる

介護イメージアップ事業、外国人材に関する業務（介護人材確保推進班）

- イメージアップに向けたSNS発信等の企画業務や外国人介護人材の確保に向けた業務を担当
- 課題解決に向けた方法を考える企画力や各関係部署等との調整力が求められる

これまでに担当した業務の紹介

◆ 総務部 市町村課 財政調整班

〈市町村の支援や助言を行う業務を経験〉

市町村民税、普通交付税に関する業務

- 市町村が課税する市町村民税（住民税）に関する市町村支援
- 普通交付税に関する照会等の業務
- 法令関係等を理解する読解力や、県内市町村の税収等の状況を分析する分析力、上司への説明力などが求められる

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- デスクワークや事務作業が多そう
- どういった仕事をしているのかよく分からない

◆ 入庁してみたら・・・

- 出張の機会は意外とある（部署によっては県外、海外の場合も）
- 仕事が多岐に渡るため、一言では言い表せないが、県民や県内企業のためのサービスなどを行っている

仕事をする上で心がけていること

◆ 仕事の目的を理解すること

漠然と前例踏襲で仕事をしてしまうと、目的などが分からなくなり、誤った判断・選択をしかねないため、一つひとつの仕事に対して、どういった目的なのかを考え、理解した上で取り掛かるように心掛けています。

◆ 完璧を求めすぎないこと

常に完璧を目指して仕事をしてしまうと、時間が足りなくなってしまうたり、突発的な仕事に対応できなくなってしまうため、割り切ることも大事だと考えています。

仕事のやりがい

◆ 担当業務がメディアで取り上げられたとき

自分が担当していた企画業務がテレビや新聞に取り上げられたときは、宮城県のために必要な仕事に携わっていることを改めて実感しました。

◆ 若手職員でも大きな金額を扱う事業を担当できる

事業費が数千万円規模の事業を担当することがあるほか、交付金事業を担当していた時は、十数億円規模の事業を担当することもあり、責任の重さとともに、やりがいも感じました。

職場の雰囲気

- ◆ 県職員のほか、市町村や国（総務省）からの若手職員が課の半数在籍しているため活気があり、若手職員同士でも相談や意見交換などがしやすい職場です。
- ◆ 毎年度異動者が多い職場ですが、周りの職員がサポートをしっかりとってくれるため、安心して仕事をすることができます。

宮城県職員の魅力

- ◆ 概ね3年ごとに人事異動があり、まるで転職したかのように全く違う分野の仕事をするため、仕事の幅が広い。
- ◆ 在宅勤務や時差勤務も導入されており、時間などを有効に活用できる柔軟な働き方に対応している。
- ◆ 福利厚生が充実しているため、仕事とプライベートを両立させることができる。

先輩職員からのメッセージ

自然災害や社会情勢の変化などにより、公務員の取り巻く環境も大きく変化しています。

この変化に対応していくためには、柔軟な発想を持った方やチャレンジ精神がある方などの力が必要です。

宮城県庁には皆さんが活躍できる場所が用意されています。

皆さんと一緒に働ける日を心よりお待ちしております。